

会員開発委員長方針

岡山 拓矢

委員会日：毎月15日前後

＝委員会メンバー＝

副委員長：古山 雄太

委 員：

<委員長方針>

青年会議所には、「修練、奉仕、友情」という三信条があります。我々はまちづくり団体として、「公」への奉仕を日々考え活動する必要があると考えますが、メンバーの成長なくして「公」への奉仕はできないとも考えられます。我々が自らを厳しく律し「修練」する事で個の成長に繋がり、団体として、まち・人へのより効果的な「奉仕」ができると考えます。また仲間と共に切磋琢磨し、「公」のために活動する中で、苦楽を共に感じるからこそ、「友情」が生まれるのではないのでしょうか。我々の運動が、このまちへより影響を与えるためにも、個の力を高め、結集し、同じ方向に向かって進んでいく事で、更なる中津川青年会議所の組織力の強化となり、この先のまちの発展に繋がると考えます。

青年会議所活動の意義は、何事にも参加し、体験しなければ見えてきません。新会員にはJAYCEEへの道を歩みだす第一歩として、事業に積極的に参加していただきたい。その体験を通して、自らの意識と価値観を高め感性を磨き、参加する事の大切さや新たな気づきを得ていただきたいと考えます。その上で忘れてはならないのは、青年会議所活動に送り出してくれる家族や会社の存在だと考えます。多くの人たちの恩に報いるためにも、我々はそこに住むまちに貢献するという気概を持って活動して参りましょう。

会員開発委員会の事業として、献血の推進があります。中津川青年会議所が「公」への「奉仕」の一つとして継続的に取り組んでいる事業の中で、委員会メンバー自らが中心となり積極的に推進する事で、社会貢献の必要性を学んでいただきたい。その上で、献血の現状と必要性を多くの市民へ発信して参ります。

私は委員長として、委員会メンバーが何事にも積極的に取り組む姿勢が、多くの成長できる機会に繋がると考え、厳しくも愛情を持って委員会を牽引して参ります。そして、この1年の委員会メンバーの成長が、中津川青年会議所に新たな活力を与えられるよう取り組んで参ります。

<事業内容>

・献血の推進

<事業予算>

・15,000円